山陰中央新報
2016年(平成28)
12月31日(土)

シイタケ植菌 成長楽しみ

日原小児童6人が体験

津和野

津和野町日原の日原小学校の放課後子ども教室「つわの育ちつわもの隊」の体験活動がこのほど、同町枕瀬の枕瀬山友好の森であり、児童6人がシイタケの植菌やほだ場の見学を通じて栽培について学んだ。

同隊は、今年6月に発足。週2回、放課後に集まって勉強するほか、月1回の体験活動も行っている。

児童たちは、友好の森近くの水津登さん(66)が所有するシイタケのほだ場(1600平方㍍)に入り、シイタケの収穫を体験した。植菌作業では、水津さんや地域おこし協力隊の2人から指導を受けながら、長さ1㍍に切ったコナラの原木に電動ドライバーで穴を開け、シイタケ、ヒラタケ、ナメコの種駒を木づちで打ち込んだ。

その後、児童たちはほだ場で取り入れたシイタケを焼いて味わった。同校2年の飯田梨瑚さん(7)は「頑張って菌を植えたので時々、様子を見に来たい。成長するのがとても楽しみ」と笑顔で話した。(吉野仁士)

原木に木づちで種駒を打ち込む児童